

四郷小だより

発行人 北岡 美代子



10/14 前期終業式を行いました

今日は体育館で前期終業式を行いました。一年間の折り返しの節目の日として、これまでの学習・生活を振り返り、後期につなげていきたいと思えます。

また、各学級では担任から、前期通知表「あゆみ」を配付しました。「あゆみ」は、お子様の学校における学習や生活の様子を保護者の方にお知らせするために作成しています。同時に、お子様がこれまでの「あゆみ」を振り返り、続けて頑張ったり、さらに努力したりするためのものとしてほしいと考えています。

是非、「あゆみ」をお子様と一緒に見ていただき、次の学期への目標や励みとしてください。まずはお子様の良さや頑張ったところを、大いにほめてあげてください。そして、これからどのような点に力を入れていきたいか、どのように過ごしていきたいか、お子様と一緒に次の目標を話し合っただけであればと思います。お子様自身の「～したい。」という意欲を引き出していただき、自ら学ぼうとする意欲につなげていただければありがたいと思います。

学校と家庭がともに力を合わせてお子様の成長を見守っていききたいと思います。

今後ともご協力をよろしく申し上げます。

《 通知表 「あゆみ」について 》



1 「学習の様子」～教科学習について

◆学習の観点を「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点としています。

ただし、国語科については、6観点としています。

2020年度から学習指導要領改訂により、各教科等の目標や内容が「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性」と資質・能力の3つの柱に整理されました。

また、観点別学習状況の評価の観点については、従来の「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」「技能」「知識・理解」の4観点に代わり、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点で整理して示されました。

2 評価の方法と表記について

- ◆評価は、ペーパーテストだけでなく、ノートやレポート等による記述、授業中の発言、教師による観察、グループでの話し合い、実技、作品の制作といった、多面的・多角的な見方で行います。
- ◆主体的に学習に取り組む態度については、学習に取り組む姿、児童による自己評価、相互評価の状況など、各教科の特質に応じて、多様な方法で評価を行います。
- ◆他の子どもとの比較ではなく、観点別の目標に準拠し、それぞれの到達度に応じて、◎よくできた、○できた、△もう少しで評価をしています。
※「△」であっても、あくまでも現時点における「もう少し」です

3 「行動の様子」について

- ◆お子様の学校での生活の様子や行動の特徴について評価したものです。他の子どもとの比較ではなく、お子様の学校生活の状況の評価をしています。◎は「特に優れている点」です。

4 「総合的な学習の時間」・「外国語活動」・「道徳」の評価について

- ◆3年生から6年生で実施している総合的な学習の時間や、3・4年生「外国語活動」については、記述式で評価しています。
- ◆特別の教科「道徳」においては、授業の中で見られた発言や記述などをもとに、お子様の学習状況や道徳性に係る成長の様子を文章で記載しています。

5 出席の様子の日数について

- ◆「**新型コロナウイルス感染症**に対応するガイドライン」により、以下の場合には出席停止の日数として記録することになっています。

- ・児童が新型コロナウイルス感染症に罹患した場合
- ・児童が発熱等風邪症状があり、登校を控えた場合
- ・同居のご家族が新型コロナウイルス感染症に罹患し、児童が濃厚接触者として指定された場合
- ・同居家族が濃厚接触者と特定され、抗原検査・PCR検査を受け、同居家族の陰性が確認されるまで自宅待機となった場合

